

# 階上の養殖について

5119K

## テーマ設定の理由

養殖について、分からないことがいっぱいあったので、階上の養殖について調べようと思いました。

「豊かな海」について調べる前は、養殖のことなどは、ほとんど知りませんでした。分かりませんでしたでしたが興味はありました。そこで、階上の養殖についてという課題にして、調べることにしました。

しかし、養殖している全部のものではなくて、ワカメとホタテを中心に調べました。

なぜかという、全部のものだと調べるときに、量がすごく多くなるからです。

このような理由から、私は養殖（ワカメとホタテを中心に）について調べることにしました。

## 2 研究内容

(1) 階上でワカメの養殖をしている人の人数

ワカメの養殖をしている人は、54人でした。

意外と多かったのでびっくりしました。

(2) 階上でホタテの養殖をしている人の人数

ホタテの養殖をしている人は9人でした。

もっと、多いのかと思っていたけど少なかったの  
で、意外でした。

(3) しん災前と今年でワカメのとれた量は？

しん災前の22年の1月から4月は543, 165 kg とれて、今年の1月か



ら4月は、312, 390 kg とれたそうです。  
やっぱり、しん災前より少ないんだなと思いました。



(4) しん災前と今年で、ホタテのとれた量は？

しん災前の22年の12月からは35, 646 kg  
とれて、25年の4月から26年の3月にかけて  
は、21, 420 kg とれたそうです。ホタテもし  
ん災前より、少ないんだなと思いました。



(5) ワカメとホタテ、それぞれ出荷する時期はい  
つか

ワカメは1月から9月で、ホタテは4月から12  
月に出荷する。

(6) ワカメの平均の買い取りは？

60 t 1キロ 200円くらい

(7) メカブはどのくらいで作れるのか。

1年かからないで作れる。

(8) 塩蔵ワカメのとれる量は？

約57万 t

(9) 養殖をしていて、とれるものの種類は？

アワビ、ウニ、ふのり、ホタテ、ワカメ、ホヤなど。

### 3 問題点(課題)

持続可能な発展のための養殖(ワカメ)の収穫量を増やす工夫ということで、調べ直しをし、内容を深めることにしました。

そこで、これまで養殖のことを教えていただいている、階上漁協の三浦さんに手紙を書いて教えていただくことにしました。

同じテーマで調べている友達に来た返事には、

- 1, 種の改良
- 2, 刈り取りの時期の調整

と書かれていました。

私の予想は、海をきれいにする事、じょうぶな種を使うことだったので、  
だいたい似ていたと思いました。

## 4 感想

「階上の養殖について」を調べるために、私が聞いた人は JF（漁業共同組合）のみなさんです。特に、写真を撮らせていただくなど、階上漁協の千尋会の三浦さんにお世話になりました。

養殖について調べてうれしかったことがあります。それは、養殖についてなかなか分からない、ワカメ、ホタテのとれる量や、出荷する時期や、ワカメ・ホタテの養殖をしている人や、ホタテは平均などを自分で調べて分かることができたことです。それから、ホタテの養殖をしている人の人数は、思ったよりとても少なくて、びっくりしました。ワカメの養殖をしている人数の方が、ホタテの養殖をしている人数より、とても多かったことにもびっくりしました。自分が分からないことも知れたし、豊かな海について関係していると思ったので、養殖について調べられて良かったです。

収穫を上げるための工夫をしていることも、すごいと思いました。

養殖をしている人がいる、だから気仙沼は豊かな海だと思いました。

ワカメ、ホタテ以外の養殖についても調べたくなってきました。